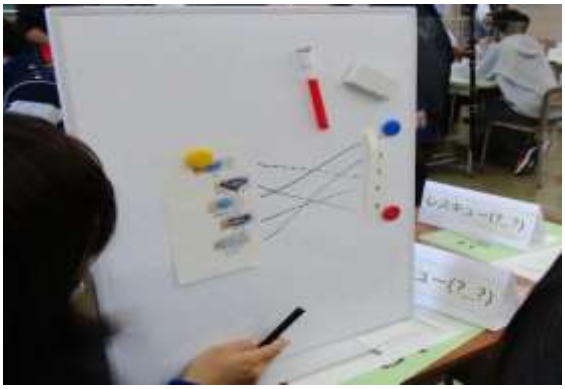
令和２年度

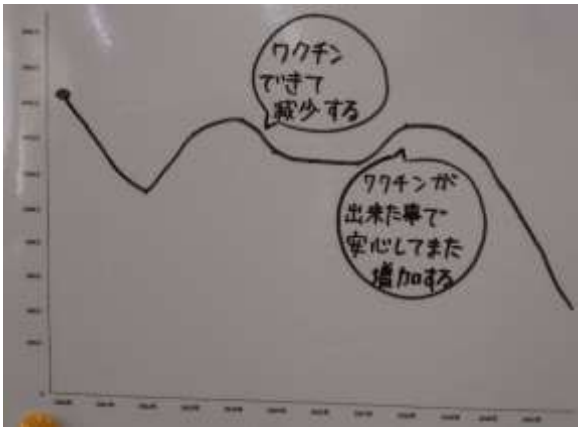
体育指導センター長期研修研究報告　資料編

# 興味・関心を持ちながら
# 協働的に課題に取り組む保健学習

## ―新型コロナウイルス感染症を中心とした見える化教材の活用と
## グルーピングの工夫を通して―



**興味・関心を持ちながら** ⇒ **協働的に課題に取り組む**




神奈川県立体育指導センター　長期研究員

神奈川県立相模向陽館高等学校　髙橋　直人

# 目　次

１　１時間目（ワークシート）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
２　２時間目（ワークシート）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
３　３時間目（ワークシート）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
４　学習ノート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
５　アンケート調査（実態・事前・事後）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
６　発話記録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
７　授業通信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37
８　研究通信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・46
９　参考文献・資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・60

１　１時間目（ワークシート）

# 2020　保健学習＜感染症を正しく恐れましょう＞

## １年１組　　番　氏名

【発問】

| |
|---|
| 新型コロナウイルス感染症に感染してしまい、差別や偏見を受けている人が多くいます。<br><br>なぜ、差別や偏見がうまれるのでしょうか？どうすれば防げるでしょうか？ |

○自分の考え

| |
|---|
| |

―メモ―

| |
|---|
| |

【講義】

| |
|---|
| ○新型コロナウイルス感染症の予防について理解しよう！ |

―メモ―（パワーポイントの説明を見ながら必要なことをメモしよう）

| |
|---|
| |

【今日の課題】

**ウイルスなどの飛沫（ひまつ）をブロックするための、マスクの種類の有効性が高い順にランキングを作ろう！**

〇自分が考えたランキング（線でつなごう！）

―メモー（参考になった意見をメモしましょう！）

## ○マスクの効果について動画を見て

## ポイントを確認しよう！

| |
|---|
| ・不織布マスクと布マスクの効果は（違う・ほぼ同じ） |
| ・マスクの＿＿＿＿＿をなくすと飛沫を９割以上おさえられる。 |
| ・マスクの＿＿＿＿＿が大事。<br>自分に合った＿＿＿＿＿が大事。 |

### ○正しいマスクの付け方

・厚生労働省　動画 HP

HTTPS://WWW.MHLW.GO.JP/STF/SEISAKUNITSUITE/BUNYA/0000121431_00094.HTML

２　２時間目（ワークシート）

# 2020　保健学習

## ＜感染症を正しく恐れながら、対策を考えよう＞

## １年１組　　番　氏名

**○ブレインストーミングを行おう！**

**新型コロナウイルス感染症を予防しながら、個人及び社会的な対策を**

**たくさん書き出してみよう！**

| | 感染源 | 感染経路 | 感受性者 |
|---|---|---|---|
| 個人的対策 | | | |
| 社会的対策 | | | |

【講義】

○新型コロナウイルス感染症の予防・対策について日本の対策、

神奈川県の対策について理解しよう！

―メモ―（パワーポイントの説明を見ながら必要なことをメモしよう）

## ○今日の課題

**３つの事例から、１つ選び、それぞれの状況をふまえ、責任者の立場で、新型コロナウイルス感染症の予防対策を考え、提案しよう！**

| |
|---|
| １　○○高等学校（責任者は校長先生） |
| 目標：感染予防と授業の実施。生徒同士や先生と生徒の関わり。 |
| 状況：新型コロナウイルスに感染している生徒が増えてきている。<br>マスクをつけない生徒もいる。<br>休み時間に密になり話をしている。<br>昼休みに密になり、食事をしている。<br>行事が密になりやすいので行うかを先生たちが悩んでいる。 |
| ２　○○飲食店（責任者は店長） |
| 目標：感染予防と飲食店の売り上げ回復。 |
| 状況：１つの飲食店でクラスターが発生してしまった。<br>テイクアウトも行っているが、売り上げが厳しい。<br>店にも来てほしい。 |
| ３　○○カラオケ店（責任者は店長） |
| 目標：感染予防と売り上げの回復。 |
| 状況：以前、クラスターが発生した。<br>大きな声で歌うので飛沫が飛んで感染する可能性がある。<br>マスクをつけて歌うと熱中症になる可能性がある。 |

（用語解説）

＊クラスター・・人の集まり。群れ。集団。

→　集団感染。

（グループワークの進め方）

○個人で出した新たな取り組みを

ボードに貼ろう！

↓

○グループで意見をまとめよう！

↓

○各グループが考えた対策を全体で

２つ共有しよう！

## ○各グループの提案した対策を評価しよう！

| | 各グループの提案した対策について感想を書こう♪ | 3 段階で評価しよう！ |
|---|---|---|
| 例 | ○○の対策はとても具体的でわかりやすかった。<br><br>〇〇の対策についてもっと知りたいと思った。 | ◎ 〇 △ |
| 1 | | ◎ 〇 △ |
| 2 | | ◎ 〇 △ |
| 3 | | ◎ 〇 △ |
| 4 | | ◎ 〇 △ |
| 5 | | ◎ 〇 △ |
| 6 | | ◎ 〇 △ |

＊自分のグループの評価は書かなくていいです。

３　３時間目（ワークシート）

# 2020　保健学習

## ＜感染症を正しく恐れ、感染症と向き合いましょう＞

## １年１組　　番　氏名

## ＜発問＞新型コロナウイルス感染症以外で知っている感染症はありますか？

自分が知っている感染症を〇でかこみましょう！

| 再興感染症 | 新興感染症 |
|---|---|
| ・結核 | ・鳥インフルエンザ |
| ・マラリア | ・後天性免疫不全症候群（HIV） |
| ・はしか | ・腸管出血性大腸菌感染症（O-１５７） |
| ・ペスト | ・SARS（重症急性呼吸器症候群） |
| | ・エボラ出血熱 |

【講義】

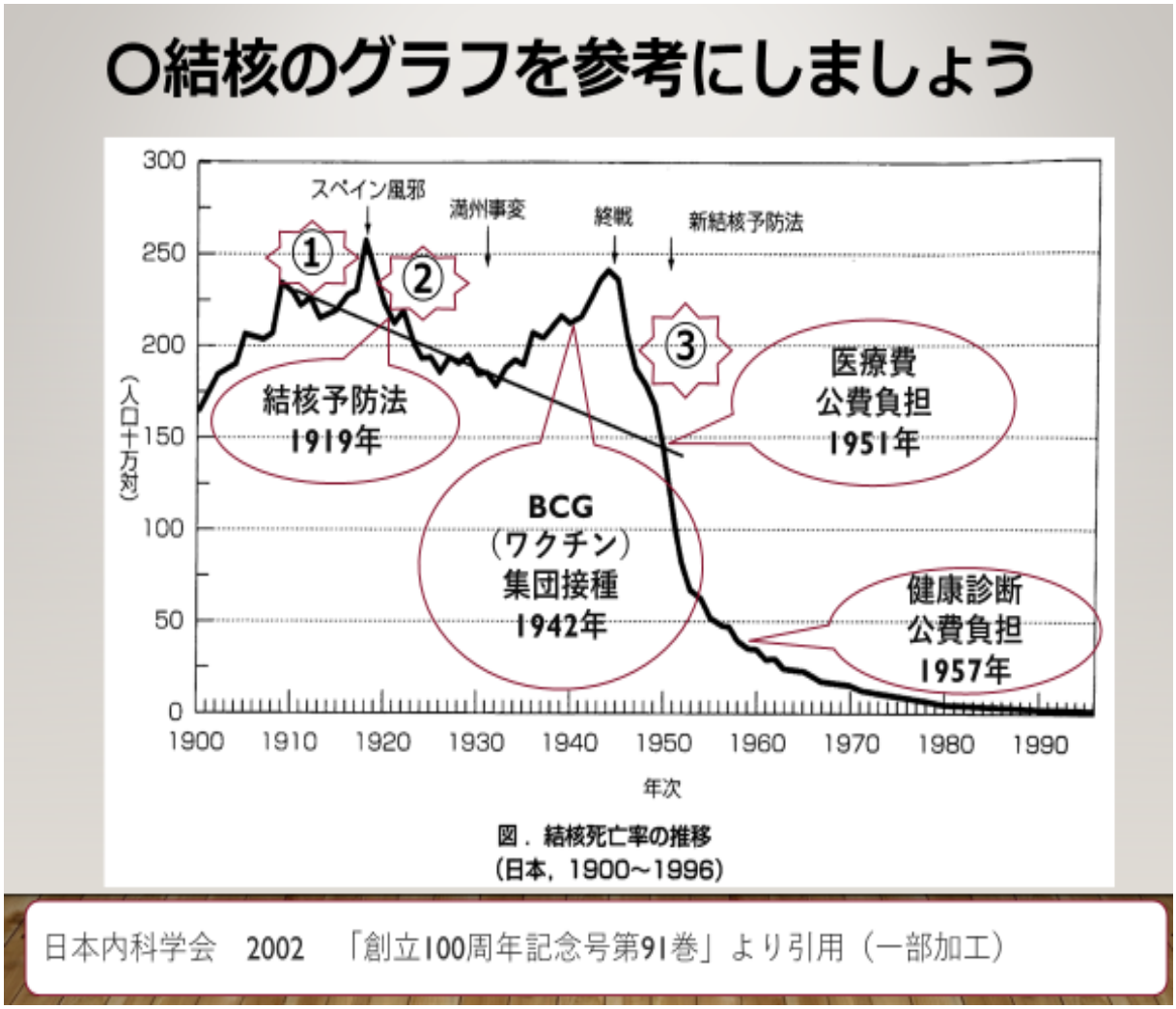
〇新興感染症や再興感染症について理解しよう！

〇感染症は発生や流行には、時代や地域によって違いが見られることについて理解しよう！

⇒大事なところは**マーカー**で引きましょう！

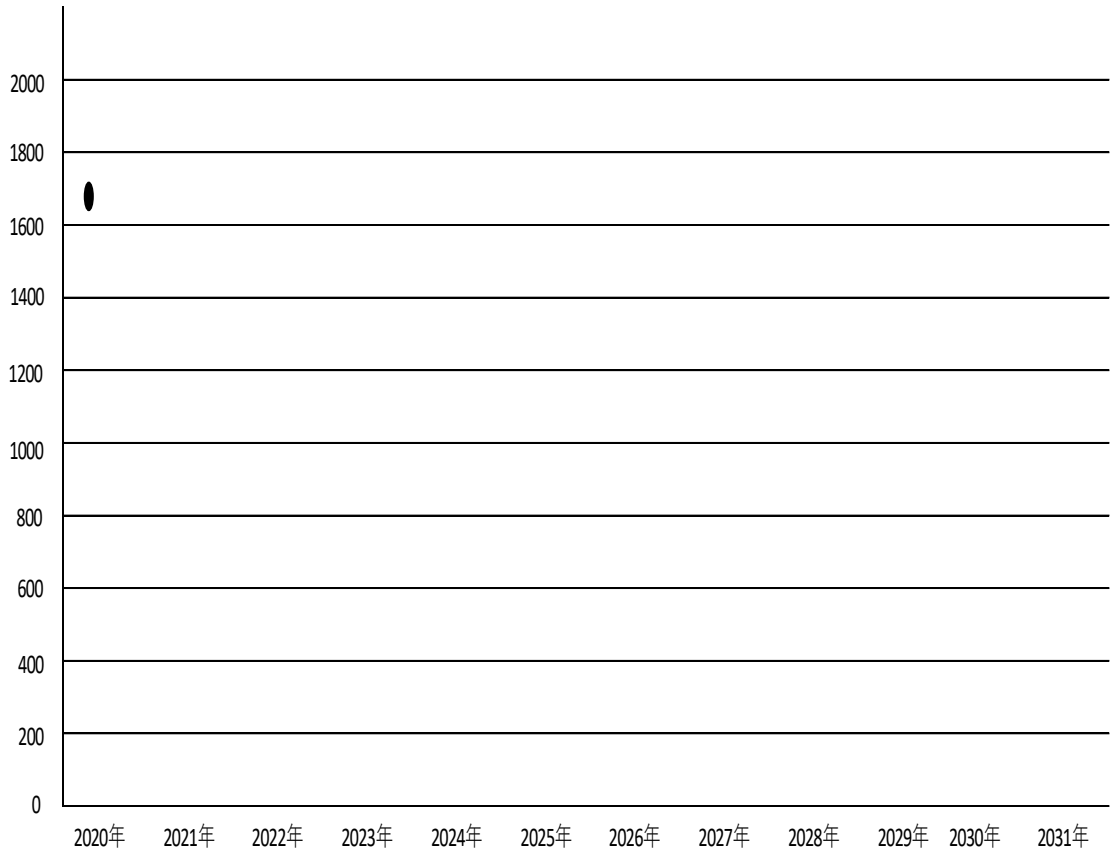
〇今日の課題

**今後、日本の新型コロナウイルス感染症の死亡者数はどのように推移（時につれて変化すること）するかを考えよう。**




日本内科学会　2002　「創立100周年記念号第91巻」より引用（一部加工）

## ○　今後の新型コロナウイルス感染症の死亡者数　予測グラフ




○新型コロナウイルス感染症に対する有効な対策

①

②

③

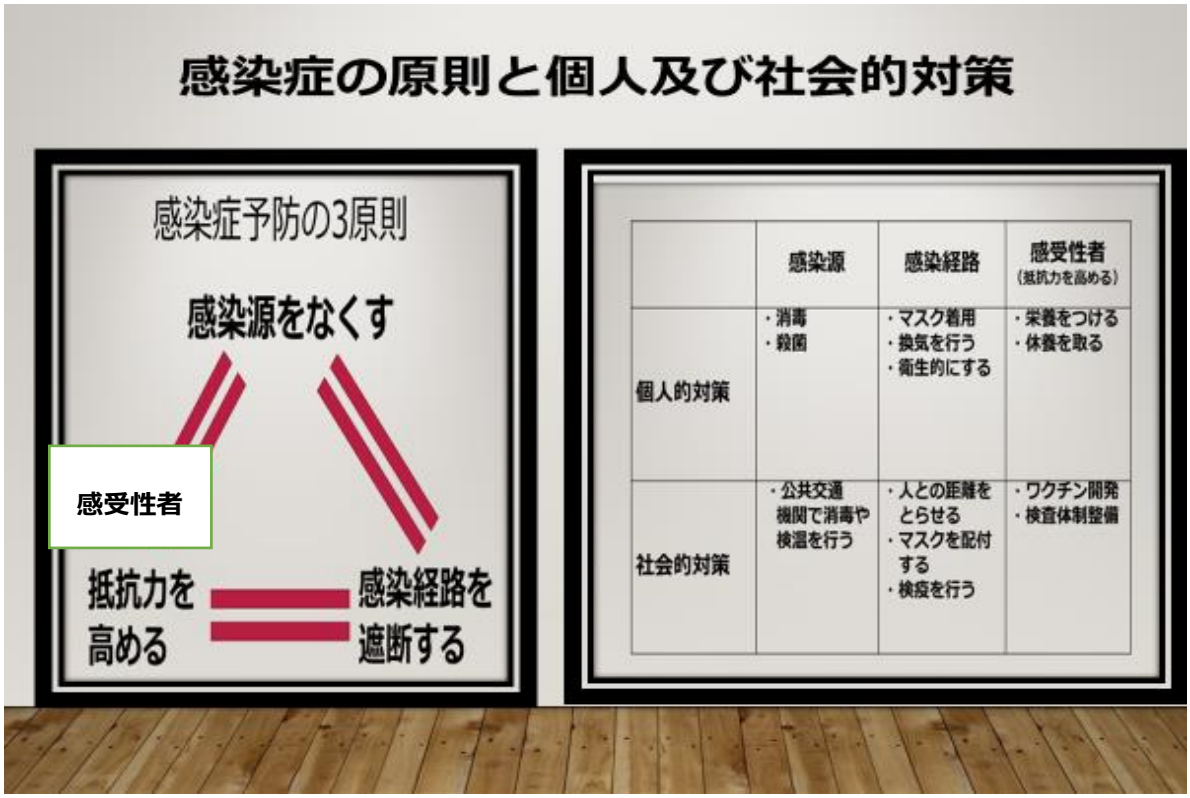
―グループのメンバー―（参考になった意見をメモしましょう）

【講義】

○これまでの復習をして、感染症とその予防について理解しよう！

〇今後、感染症との向き合い方について理解しよう！

―メモ―（パワーポイントの説明を見ながら必要なことをメモしよう）



## 【授業のまとめ】

〇感染症を予防するには、次のことが有効である。

ア　消毒や殺菌等により**発生源をなくす**こと。

イ　周囲の環境を衛生的に保つことにより**感染経路**を**遮断する**こと。

ウ　栄養状態を良好にしたり、予防接種の実施により**免疫**を付けたりするなど身体の**抵抗力**を高めること。

〇日本の結核患者数は**時代**によって違いがみられる。

〇新型コロナウイルス感染症の流行は**地域**によって違いが見られること。

〇新型コロナウイルス感染症の予防には、個人の取組だけでなく、**社会**的な対策を行う必要があること。

〇感染症のリスクを軽減し予防するための**社会**的な対策には、衛生的な環境の整備や**検疫**、正しい**情報の発信**、予防接種の普及などがある。

〇現代の感染症は、**交通網**の発達により短時間で広がりやすくなっている。

〇**新型コロナ**ウイルスのような新たな**病原体**の出現により、感染症が流行することがある。

# 【補足プリント】

（感染症の原因）

○**病原体**（ウイルスや細菌など）がほかの人や動物などから人の体の中に入り、それが増えることを**感染**といい、感染によっておこる病気を**感染症**という。

（感染症の広まり方）

○病原体が人の体に入りこむ**感染経路**は、感染症の種類によって異なる。

（感染症への抵抗力）

○病原体が体のなかに入ってもすぐに発病するわけではない。なぜなら、私たちの体には

**免疫**という、病原体に抵抗するしくみがあるから。**免疫**は、その病気に感染した経験や予防接種を受けることによって多くの場合強まります。

（再興感染症）

○**結核**、**マラリア**などのように、その発生が一時期は減少し、あまり問題だとみられない程度になっていたものが、ふたたび増加し注目されるようになった感染症は**再興感染症**と呼ばれています。

（新興感染症）

○**エイズ**、**腸管出血性大腸菌**などのように、これまで知られておらず、新たに注目されるようになった感染症は**新興感染症**と呼ばれている。

（社会的対策）

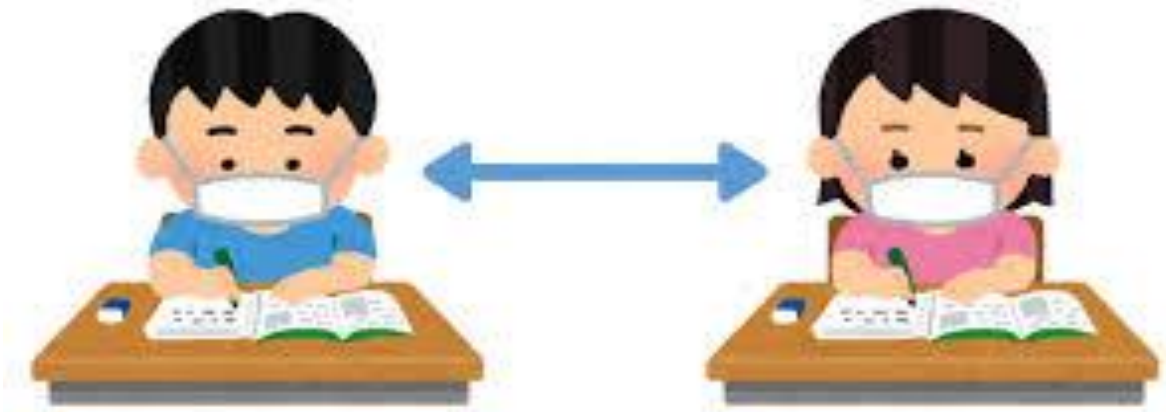
○感染症を防ぐ基本は、**感染源（病原体）、感染経路、感受性者（病原体の侵入を受ける人）**への対策です、社会全体の対策としては、**環境衛生活動**や**検疫**などがあります。また、新たな感染症に対しては**調査・研究**をおこない、今後の感染症の流行に関する情報を収集し、それらをもとに**適切な情報を発信**することが重要です。

（個人的対策）

○個人が行う対策も感染源、感染経路、感受性者という面から考えられます。また、**適切な情報収集**も大切です。

# 保　健

# 学習ノート



**相模向陽館高等学校**

**１年　　１組　　番　　氏名**

| **1時間目** | 月　　日（　　） | 出欠 | 出席　・　遅刻　・　欠席 |
|---|---|---|---|

本時のテーマ　　【　感染症とその予防　1　】

本時の学習内容　『感染症の発生には、感染源・感染経路・感受性者の原則について理解し、新型コロナウイルス感染症の予防について課題を解決するために互いに意見を交換しよう。』

1　「今日の課題」は、考えてみたくなる内容だと思いますか。

1．そう思う　2．どちらかといえばそう思う　3．どちらかといえばそう思わない　4．そう思わない

2　今日の授業について評価してください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1．自分からすすんで、勉強することができた。 | はい | どちらでもない | いいえ |
| 2．今日の勉強に興味をもち、ほかの関係することについても、調べてみようと思った。 | はい | どちらでもない | いいえ |
| 3．今日勉強したことは、これからの生活に活かすことができるだろう。 | はい | どちらでもない | いいえ |
| 4．意外な事実を知った。 | はい | どちらでもない | いいえ |
| 5．友だちと助け合って、学習できた。 | はい | どちらでもない | いいえ |
| 6．グループの仲間の考えを理解することができましたか。 | はい | どちらでもない | いいえ |
| 7．自分の考えを相手に伝えることができた。 | はい | どちらでもない | いいえ |

3　振り返り　　（『もっと知りたい』、『もっと調べたい』と思ったことを書いてください。）

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |

次回の目標

| **2時間目** | 月　　日（　　） | 出欠 | 出席　・　遅刻　・　欠席 |
|---|---|---|---|

本時のテーマ　【　感染症とその予防　2　】

本時の学習内容　『　感染症の予防・対策について、今もっている知識と新たな知識を加え、新たな社会的対策を考えること。』

1　「今日の課題」は、考えてみたくなる内容だと思いますか。

1．そう思う　2．どちらかといえばそう思う　3．どちらかといえばそう思わない　4．そう思わない

2　今日の授業について評価してください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1．自分からすすんで、勉強することができた。 | はい | どちらでもない | いいえ |
| 2．今日の勉強に興味をもち、ほかの関係することについても、調べてみようと思った。 | はい | どちらでもない | いいえ |
| 3．今日勉強したことは、これからの生活に活かすことができるだろう。 | はい | どちらでもない | いいえ |
| 4．意外な事実を知った。 | はい | どちらでもない | いいえ |
| 5．友だちと助け合って、学習できた。 | はい | どちらでもない | いいえ |
| 6．グループの仲間の考えを理解することができましたか。 | はい | どちらでもない | いいえ |
| 7．自分の考えを相手に伝えることができた。 | はい | どちらでもない | いいえ |

3　振り返り　（感染症の個人及び社会的な対策について、「学んだこと」「理解したこと」を書いてください。）

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |

次回の目標

| **3時間目** | 月　　日（　　） | 出欠 | 出席　・　遅刻　・　欠席 |
|---|---|---|---|

本時のテーマ　　【　感染症とその予防まとめ　】

本時の学習内容　『感染症とその予防について、課題解決に向けて、グループ内で意欲的に意見を伝え合い、感染症には、時代や流行について違いが見られることを理解して、書き出そう　』

1　「今日の課題」は、考えてみたくなる内容だと思いますか。

1．そう思う　　2．どちらかといえばそう思う　　3．どちらかといえばそう思わない　　4．そう思わない

2　今日の授業について評価してください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1．自分からすすんで、勉強することができた。 | はい | どちらでもない | いいえ |
| 2．今日の勉強に興味をもち、ほかの関係することについても、調べてみようと思った。 | はい | どちらでもない | いいえ |
| 3．今日勉強したことは、これからの生活に活かすことができるだろう。 | はい | どちらでもない | いいえ |
| 4．意外な事実を知った。 | はい | どちらでもない | いいえ |
| 5．友だちと助け合って、学習できた。 | はい | どちらでもない | いいえ |
| 6．グループの仲間の考えを理解することができましたか。 | はい | どちらでもない | いいえ |
| 7．自分の考えを相手に伝えることができた。 | はい | どちらでもない | いいえ |

3　振り返り　　（感染症は時代や地域について、違いがあることについて、「わかったこと」「理解したこと」を書いてください。）

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |

4　振り返り　　（これまでの感染症とその予防の授業で、「学んだこと」を書いてください。）

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |

５　実態アンケート調査

# 保健の授業に関するアンケート

午前部　　１年　１組　　番　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

10月に保健の授業を担当する髙橋直人といいます。昨年度まで、相模向陽館高校で４年間勤務していました。皆さんと授業をすることがとても楽しみです。よろしくお願いします。

このアンケートは、保健の授業をよりよい授業にするためのものです。

ご協力をお願いします。（成績には関係ありません）

**１　これまでに受けてきた、保健の授業（中学校での保健の授業を含む）について聞きます。**

**各選択肢の中からあてはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。**

問１　保健の授業に興味はありますか。

| １ | ２ | ３ | ４ |
|---|---|---|---|
| ある | どちらかといえば | どちらかといえば | ない |

問２　保健の授業は大切だと思いますか。

| １ | ２ | ３ | ４ |
|---|---|---|---|
| そう思う | どちらかといえば そう思う | どちらかといえば そう思わない | そう思わない |

問３　保健の授業は、生活に役立つと思いますか。

| １ | ２ | ３ | ４ |
|---|---|---|---|
| そう思う | どちらかといえば そう思う | どちらかといえば そう思わない | そう思わない |

問４　保健の授業に主体的に取り組んできましたか。

| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|
| 取り組んできた | どちらかといえば取り組んできた | どちらかといえば取り組んでいない | 取り組んでいない |

**２　これまでに受けてきた、保健の授業（中学校での保健の授業を含む）の学習スタイルについて聞きます。**
**各選択肢の中からあてはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。**

問５　講義型（主に先生が話す）の学習は好きですか。

| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|
| 好き | どちらかといえば好き | どちらかといえば好きではない | 好きではない |

問６　グループ学習（３人以上のグループで課題に取り組む）は、好きですか。

| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|
| 好き | どちらかといえば好き | どちらかといえば好きではない | 好きではない |

問７　ペア学習（２人で課題に取り組む）は、好きですか。

| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|
| 好き | どちらかといえば好き | どちらかといえば好きではない | 好きではない |

問８　調べ学習などの１人で行う学習（１人で課題に取り組む）は、好きですか。

| １ | ２ | ３ | ４ |
|---|---|---|---|
| 好き | どちらかといえば好き | どちらかといえば好きではない | 好きではない |

３　高校の授業（保健以外の授業も含む）について聞きます。各選択肢の中からあてはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。

問９　授業中に、クラスメイトに教えてあげることはありますか。

| １ | ２ | ３ | ４ |
|---|---|---|---|
| ある | たまにある | あまりない | ない |

問10　授業中に、クラスメイトに教えてあげることは好きですか。

| １ | ２ | ３ | ４ |
|---|---|---|---|
| 好き | どちらかといえば好き | どちらかといえば好きではない | 好きではない |

問11　授業中に、クラスメイトに教えてもらうことはありますか。

| １ | ２ | ３ | ４ |
|---|---|---|---|
| ある | たまにある | あまりない | ない |

問12　授業中に、クラスメイトに教えてもらうことは好きですか。

| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|
| 好き | どちらかといえば好き | どちらかといえば好きではない | 好きではない |

問13　授業中に、グループ学習やペア学習等で、知恵を出し合い、課題を解決することは好きですか。

| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|
| 好き | どちらかといえば好き | どちらかといえば好きではない | 好きではない |

問14　授業中にグループ学習やペア学習等でクラスメイトと話すことについてどのように思いますか。４のその他を選んだ人は、（　）の中にどのように思っているか、書いてください。

1　誰とでもストレスなく話せる。

2　親しいクラスメイトとならストレスなく話せるが、親しくないクラスメイトと話すときは、ストレスを感じる。

3　親しい、親しくないにかかわらず、クラスメイトと話すことにストレスを感じる。

4　その他（　　）

## ４　感染症について知っていることを答えてください。

問15　「感染症」という言葉でどんなことをイメージしますか。教えてください。

問16　授業で「感染症」について、どのようなことを学びたい（知りたい）ですか。

問17　現在、「新型コロナウイルス感染症」が流行しています。

今後、生活をする上で、あなた自身が課題だと感じることを書いてください。

**以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。**

事前アンケート調査

# 保健の授業に関するアンケート（授業前）

午前部　　１年　１組　　番　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

このアンケートは、保健の授業をよりよいものにするための参考にするものです。

成績や評価には、一切関係ありません。

これまでの経験を振り返り、人と相談せずに、自分が思ったことを正直に答えてください。

回答は、もっとも当てはまるものを１つ選んで数字に○をつけてください。

自由記述欄は大変かと思いますが、考えていることを**しっかり**書いてください。よろしくお願いします。

問１　これまでの保健（中学校・高校）の授業に対して興味・関心が持てましたか。

| １ | ２ | ３ | ４ |
|---|---|---|---|
| そう思う | どちらかといえば そう思う | どちらかといえば そう思わない | そう思わない |

問２　これまでの保健（中学校・高校）の授業に意欲的に取り組んできましたか。

| １ | ２ | ３ | ４ |
|---|---|---|---|
| そう思う | どちらかといえば そう思う | どちらかといえば そう思わない | そう思わない |

問３　これまでの保健（中学校・高校）の授業におけるグループ活動で、学びが深まったり広がったりしましたか。

| １ | ２ | ３ | ４ |
|---|---|---|---|
| そう思う | どちらかといえば そう思う | どちらかといえば そう思わない | そう思わない |

問３－２　（問３の回答に対して）なぜ、そのように思いましたか。（自由記述）

| |
|---|
| |

問４　これまでの保健（中学校・高校）の授業は、現在の生活や今後の生活に役に立つ内容でしたか。

| １ | ２ | ３ | ４ |
|---|---|---|---|
| そう思う | どちらかといえば | どちらかといえば | そう思わない |
| | | | |

＜理解度チェック＞

問５　（　）のなかに適する語句を入れてください。

（１）感染症を予防するには、次のことが有効である。

ア　消毒や殺菌等により（　　）こと。

イ　周囲の環境を衛生的に保つことにより（　　）を（　　）こと。

ウ　栄養状態を良好にしたり、予防接種の実施により（　　）を付けたりするなど身体の（　　）を高めること。

（２）日本の結核患者数は（　　）によって違いがみられる。

（３）新型コロナウイルス感染症の流行は（　　）によって違いが見られること。

（４）新型コロナウイルス感染症の予防には、個人の取組だけでなく、（　　）的な対策を行う必要があること。

（５）感染症のリスクを軽減し予防するための（　　）的な対策には、衛生的な環境の整備や（　　）、正しい（　　）、予防接種の普及などがある。

（６）現代の感染症は、（　　）の発達により短時間で広がりやすくなっている。

（７）（　　）ウイルスのような新たな（　　）の出現により、感染症が流行することがある。

（８）エイズの主な感染経路は、（　　）であり、予防のための個人の行動選択が重要になってくる。

事後アンケート調査

# 保健の授業に関するアンケート（授業後）

午前部　　１年　１組　　番　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

このアンケートは、保健の授業をよりよいものにするための参考にするものです。

成績や評価には、一切関係ありません。

＜感染症とその予防＞の授業を振り返り、人と相談せずに、自分が思ったことを正直に答えてください。

回答は、もっとも当てはまるものを１つ選んで数字に〇をつけてください。

自由記述欄は大変かと思いますが、考えていることをしっかり書いてください。

問１　今回の保健の授業に対して興味・関心が持てましたか。

| １ | ２ | ３ | ４ |
|---|---|---|---|
| そう思う | どちらかといえば そう思う | どちらかといえば 思わない | そう思わない |

問２　今回の保健の授業に意欲的に（自らすすんで）取り組みましたか。

| １ | ２ | ３ | ４ |
|---|---|---|---|
| そう思う | どちらかといえば そう思う | どちらかといえば 思わない | そう思わない |

問３　授業で使用した教材プリントはわかりやすかったですか。

| １ | ２ | ３ | ４ |
|---|---|---|---|
| そう思う | どちらかといえば そう思う | どちらかといえば 思わない | そう思わない |

問４　見える化した教材（静止画・動画・グラフ・表）はわかりやすかったですか。

| １ | ２ | ３ | ４ |
|---|---|---|---|
| そう思う | どちらかといえば そう思う | どちらかといえば 思わない | そう思わない |

問５　授業の最初に教師の「語り」を聞くことで、授業に対する意欲が高まりましたか。

| １ | ２ | ３ | ４ |
|---|---|---|---|
| そう思う | どちらかといえば そう思う | どちらかといえば 思わない | そう思わない |

問６　今回の保健の授業におけるグループ活動で、学びが深まったり広がったりしましたか。

| １ | ２ | ３ | ４ |
|---|---|---|---|
| そう思う | どちらかといえば そう思う | どちらかといえば 思わない | そう思わない |

問７　授業前に配信した動画を見ましたか。

| | |
|---|---|
| １時間目の授業前 | １　見　た　・　２　見ていない |
| ２時間目の授業前 | １　見　た　・　２　見ていない |
| ３時間目の授業前 | １　見　た　・　２　見ていない |

問７－２　授業前に配信した動画を１度でも見た人は、その感想を書いてください。（自由記述）

問８　授業前に配信した動画についての感想を聞かせてください。（自由記述）

問９　授業通信「ひまわり」（５回発行）を読みましたか。

| １ | ２ | ３ | ４ |
|---|---|---|---|
| 読んだ | だいたい 読んだ | あまり 読まなかった | 読まなかった |

問 10　今回のグループは取り組みやすかったですか。

| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|
| そう思う | どちらかといえば そう思う | どちらかといえば 思わない | そう思わない |

問 10－2（上記の回答について）なぜ、そのように思いましたか。理由を書いてください。（自由記述）

問 11　今回の保健の授業は、現在の生活や今後の生活に役に立つ内容でしたか。

| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|
| そう思う | どちらかといえば そう思う | どちらかといえば 思わない | そう思わない |

問 11－2　また、1「そう思う」、2「どちらかといえばそう思う」と回答した人は、役に立つと思った内容を具体的に書いてください。（自由記述）

問 12　今回の保健の授業で、感染の仕組みや感染症予防対策の考え方といった今後活用できる知識を習得できたと思いますか。

| 1 | 2 | 3 | 4 |
|---|---|---|---|
| そう思う | どちらかといえば そう思う | どちらかといえば 思わない | そう思わない |

問 13　感染症とその予防の授業で、教科書には載っていない新型コロナウイルス感染症を扱ったことについての感想を聞かせてください。（自由記述）

| |
|---|
| |

問 14　感染症の授業を終えて、授業前と比べて変わったことについて、当てはまることを次の中から選び、番号に○印をつけてください。（当てはまるものすべてに○をつけてください。）

| | | |
|---|---|---|
| 1 | | 新型コロナウイルス感染症の予防のために、手洗いやマスクなどが必要だと思った。 |
| 2 | | 感染症を予防するには、一人ひとりの取組みと共に社会全体が取り組んでいかなければいけないと考えるようになった。 |
| 3 | | 感染症について、バラバラだった知識が整理されるとともに、新たな知識を習得し、学習する意義を感じることができた。 |
| 4 | | 感染症の予防だけでなく、これからは健康について、正しい知識を身につけ、ふだんの生活を見直したいと思った。 |

＜理解度チェック＞

問 15　（1）～（14）に適する語句を解答欄に記入してください。

1．感染症を予防するには、次のことが有効である。

ア　消毒や殺菌等により（　1　）をなくすこと。

イ　周囲の環境を衛生的に保つことにより（　2　）を（　3　）こと。

ウ　栄養状態を良好にしたり、予防接種の実施により（　4　）を付けたりするなど身体の（　5　）を高めること。

2．日本の結核患者数は（　6　）によって違いがみられる。

3．新型コロナウイルス感染症の流行は（　7　）によって違いが見られること。

4．新型コロナウイルス感染症の予防には、個人の取組だけでなく、（　8　）的な対策を行う必要があること。

5．感染症のリスクを軽減し予防するための（　9　）的な対策には、衛生的な環境の整備や（　10　）、正しい（　11　）、予防接種の普及などがある。

6．現代の感染症は、（　12　）の発達により短時間で広がりやすくなっている。

7．（　13　）ウイルスのような新たな（　14　）の出現により、感染症が流行することがある。

解答欄（模範解答入り）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 発生源 | 2 | 感染経路 | 3 | 遮断する |
| 4 | 免疫 | 5 | 抵抗力 | 6 | 時代 |
| 7 | 地域 | 8 | 社会 | 9 | 社会 |
| １０ | 検疫 | １１ | 情報の発信 | １２ | 交通網 |
| １３ | 新型コロナ | １４ | 病原体 | | |

6　発話記録

| 発話数 | ４班　１時間目 |
|---|---|
| 1 | 私は |
| 2 | これ（ホワイトボード）に書いちゃえば、消せるし |
| 3 | 頑張れ、頑張るんだ |
| 4 | これが |
| 5 | うん |
| 6 | これが２番 |
| 7 | そして、布 |
| 8 | わかんない |
| 9 | 私も大体一緒 |
| 10 | 私も |
| 11 | どう皆様？ |
| 12 | ウチはちょっと違う |
| 13 | ちょっと違う、どんな感じ？ |
| 14 | えっと、１番がN95 |
| 15 | ２が布 |
| 16 | 布？ |
| 17 | えっ… |
| 18 | ３がサージカルマスクで |
| 19 | ４がネックゲイター |
| 20 | ５は同じ |
| 21 | バンダナね |

| | |
|---|---|
| 22 | バンダナ薄そうだよね |
| 23 | バンダナって、そういうのちゃんとやってなさそうだしさ |
| 24 | ちゃんとしてって思う |
| 25 | そう思う |
| 26 | 何で２番が布なの？ |
| 27 | 何でだろうね |
| 28 | 何か、手作りとかでもあるし |
| 29 | でも、今思うとサージカルマスクでいいと思う |
| 30 | マスクランキングあった！ |
| 31 | これが正解じゃん |
| 32 | おっと |
| 33 | これ写真、同じだぞ |
| 34 | 同じじゃん |
| 35 | これ、ちゃんと同じだった |
| 36 | 見つけちゃった。見つけちゃった |
| 37 | ナイス！ |
| 38 | 後は、皆同じ感じ？ |
| 39 | 同じ感じ |
| 40 | 同じ |
| 41 | そんな感じ |
| 42 | そんな感じだよね |

| | |
|---|---|
| 発話数 | ４班　２時間目 |

| | |
|---|---|
| 1 | 消毒めっちゃする |
| 2 | 読めるのか |
| 3 | マスクをする |
| 4 | 常に体温を測る |
| 5 | ソーシャルディスタンスを守れる状況を作る |
| 6 | 家庭と連携した健康観察 |
| 7 | 正しい手洗い |
| 8 | 基本的な感染症対策 |
| 9 | 分散登校 |
| 10 | 分散登校してたよね |
| 11 | 見えない |
| 12 | 見えなければ近くに行けば |
| 13 | 決めなきゃいけないでしょ |
| 14 | ソーサルディスタンスを守る |
| 15 | カテゴリに分ける |
| 16 | いいよ分けても |
| 17 | すごい細いね |
| 18 | 消毒多いね |
| 19 | みんなそうだよね |
| 20 | うちの弟私学に行ってるんだけど 1 時間目終わったらみんなで消毒して お昼休みもみんなで消毒してるんだって |
| 21 | それは大変だね |
| 22 | でも未だに出てないからね |
| 23 | すごいね |

| | |
|---|---|
| 24 | 参加しよう |
| 25 | いいんじゃない |
| 26 | どうする |
| 27 | どれがいい |
| 28 | どれにしようか迷うね |
| 29 | どれにする |
| 30 | さあどれにしようか |
| 31 | どれがいいかな |
| 32 | 書くのどれにするか迷う |
| 33 | 7 個あるからさ |
| 34 | 基本的にみんながやってることを消していけばいいんじゃない |
| 35 | どれが１番大事かしら |
| 36 | 学校的にできることがいいよね |
| 37 | 学校側ができることって何だろうね |
| 38 | どれがいい |
| 39 | どれがいい |
| 40 | じゃあ分散登校にしようか |
| 41 | 分散登校にしよう |

| 発話数 | ４班　３時間目 |
|---|---|
| 1 | どうです？ |
| 2 | 書いたよ |
| 3 | これしか思いつかんかった |

| | |
|---|---|
| 4 | いつかできそうじゃないワクチン |
| 5 | じゃあワクチン書いちゃおう |
| 6 | ワクチン以外で何か |
| 7 | 書いた人いる |
| 8 | 免疫抗体 |
| 9 | だって死んじゃう人ってみんな免疫とか抗体が弱いんじゃないの |
| 10 | だからワクチン作ればいいんじゃない |
| 11 | みんな 10 とかちゃんと書いてるね |
| 12 | めんどくさいから適当に書いただけだよ |
| 13 | さっきこっちのだから大丈夫だよ |
| 14 | 私も割とグラフにてるから |
| 15 | 私、思いつかなかった |
| 16 | ワクチン以外思いつかなかった |
| 17 | あとなんかあったっけ |
| 18 | ワクチンぐらい |
| 19 | ワクチンだよね |
| 20 | 書いた |
| 21 | ワクチンって薬でしょ |
| 22 | 薬で発明するってことでしょ |
| 23 | 何か書いた |
| 24 | わかんない |
| 25 | じゃあ下がっていくと思う |
| 26 | うん |

| | |
|---|---|
| 27 | なんかウイルスって弱まっていくって聞いたことがある |
| 28 | 私はちょっと下がった後に油断してまた上がると思う |
| 29 | それはあるそれはある |
| 30 | そういうところ日本人あるから |
| 31 | そうそう |
| 32 | やっぱり下がっていくよね |
| 33 | そんな気がする |
| 34 | 下がっていくけどちょっと上がる |
| 35 | ワクチンが出来れば早いと思うね |
| 36 | これって書かなきゃいけないの |
| 37 | 何書く |
| 38 | わかんない |
| 39 | ワクチンって書けばいいのかな |
| 40 | 免疫抗体を作るとか |
| 41 | グラフを書くの |
| 42 | グラフを書くんですね |
| 43 | 下がって行くよね |
| 44 | うん |
| 45 | 下がっていくと思う |
| 46 | 1 回ちょっと上がっちゃう |
| 47 | 上がっちゃう感じで |
| 48 | 上がっちゃう感じだね |
| 49 | どこで上がる |

| | |
|---|---|
| 50 | みんなどこで上がる |
| 51 | 2021 年 |
| 52 | 私は 22 |
| 53 | じゃあそんぐらいで |
| 54 | そこらへんね |
| 55 | 停滞してからのちょっと上がる |
| 56 | 死者数安定して下がる |
| 57 | このさぁ、上がったところどうする |
| 58 | 余裕ができたから |
| 59 | 油断したって感じ |
| 60 | 油断してびっくりして薬作って下がった |
| 61 | そうだね |
| 62 | いいんじゃない |
| 63 | OK |
| 64 | ワクチンこの辺でいいんじゃない |
| 65 | うん |
| 66 | 多分その辺 |
| 67 | OK |

授業通信　保健

相模向陽館高等学校午前部１年１組　第１号

# 『ひまわり』

皆さん、こんにちは。夏休み前に保健学習のアンケート調査を行った髙橋です。皆が協力してくれたアンケート調査の結果をまとめて、授業の参考にしたいと思います。ありがとうございました。

さて、皆と授業を行う前に私のことを少しでも知ってもらいたいと思い、授業通信を発行しました。

氏名・・・・・髙橋（たかはし）　直人（なおと）

生年月日・・・1984 年５月２日（36 歳）おうし座。

経歴・・・・・宮城県仙台市に生まれる。

家族構成・・・妻・長女（８歳）次女（５歳）三女（３歳）。

趣味・・・・・キャンプ、旅行、ジョギング、読書。

好きな言葉・・【現状打破の精神】【ピンチの時こそ笑顔】

長所・・・・・何事も楽しいと思える（ポジティブ）。

短所・・・・・夢中になると視野が狭くなる。皆さんに一言・皆さんと出会えて本当に嬉しく思っています。

早く皆と授業したい！と、いつも思っています。

〇なぜ、教師を目指そうと思ったのか？

私は教師を目指した理由が２つあります。１つ目は、野球部の監督になりたいと思っていました。小学校から大学まで野球を続けてきました。野球という集団スポーツを行うなかでたくさんのことを学びました。野球で出会った仲間たちは一生涯の仲間となりました。だからこそ、野球で恩返しをしたいと思いました。

２つ目は、中学・高校時代は教師が嫌いで嫌いで仕方ありませんでした。常に上から目線で「これをやっておけ。」「こんなこともわからないのか。」等と命令されたり、馬鹿にされたり。グラウンドで野球を行っている時が生きがいでした。そのため、私の楽しかった思い出は「野球」以外ありません。だからこそ、そんな経験を皆にはして欲しくないと思っています。

しかし、教師になってから、私の嫌いだった学生時代の教師と同じことをしている時もありました。自分が思うようにいかないと生徒に対して怒っていました。後から、本当に反省しました。

生徒のためにしていることが、いつの間にか自分のためになっていたのです。そんなことがないように、日誌を書いて、日々を振り返っています。

相模向陽館高校で教員生活は、「何のために教師になったのか。」と、自分に対して自問自答をしました。何よりも生徒の個性を大事にしようと思っていました。

皆の個性も大事にして授業を行いたいと思っています。

よろしくお願いします(^^♪

授業通信　保健

相模向陽館高等学校午前部１年１組　第２号

# 『ひまわり』

皆さん、こんにちは！いよいよ前期も終わりですね。入学前に想像していた通りの学校でしたか？コロナ禍の影響で入学してすぐに授業が始まらなかったり、クラスメイトと話すこともできずに大変だったと思います。

しかし、そんな大変な時期をよく乗り越えたと思います。「大変」とは、大きく変わることです。きっと、学校に行けない時期も皆は大きく変わり、成長したと思います。

私は皆と数回しか会ったことがありません。しかし、皆の雰囲気はとてもいいです。最初は皆となかなか視線も合わなかったけれど、段々と視線が合うようになって、「話を聞いてくれて、とってもうれしいなぁ😊」と思っていました。そんな皆と一緒に授業を行う日々が待ち遠しいです。担任の土田先生や荒川先生は皆のことをよくほめています。私も皆の良いところをたくさん見つけていきたいです。

今回は、皆がこんなこと気になるかな？と思うであろうことを質問形式で回答しますね(^^♪

授業のＱ&Ａ

質問１：髙橋先生は保健の授業でどんな内容を行うのですか？

回答：感染症とその予防。感染症は新型コロナウイルス感染症を中心に、エイズについても扱います。

質問２：髙橋先生が授業で大切にしていることは何ですか？

回答：授業は生徒一人ひとりが主役だと思っています。そのために、皆が活動したり、考える時間を多く取っていきたいと思っています。

質問３：髙橋先生はどんな授業をしますか？

回答：グループを作って授業を進めていきます。なぜか？わからないことをすぐにグループの人に聞けたら安心して授業に参加できると思っているからです。

質問４：髙橋先生は何のために授業をしますか？

回答：そのことは 10 月２日の LHR で話しますね(^^)/

質問５：授業の前に予習をしたほうがいいですか？

回答：素晴らしい質問だね。40 分という短い授業ですべて分かるようになるのはとても難しいよね。そのため、事前に授業で必要な知識を短い動画で classroom に配信したいと思っています。事前の動画を見れば、授業が分かりやすくなると思います。ぜひ、見てくださいね～😊

授業通信　保健

相模向陽館高等学校午前部１年１組　第３号

# 『ひまわり』

## 素晴らしい授業の取り組みでした☺

こんにちは！皆と行った１回目の授業を終えて、「授業は本当に楽しい(^^♪)」と心から思えました。

そのように思えたのは、皆の取り組みが素晴らしかったからです。いつもと違う教室。いつもと違う雰囲気。大人がたくさんいる空間。そのなかで皆が、先生や同じグループメンバーの話をきちんと聞いて、意欲的に活動する姿はとても頼もしかったです。

私以外にも、授業を参観してくれた方々が皆の取り組みをほめていました。それを聞いて私や担任の先生方も本当にうれしかったです。

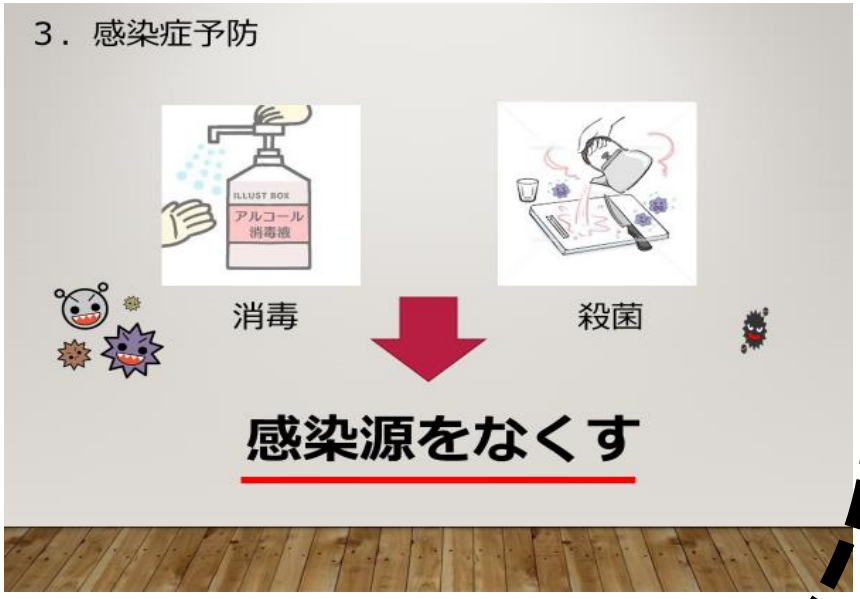
今後も皆を信じて、皆の可能性を広げていきたいと思います。皆も、わからないことがあれば周りの人や先生方に聞きましょうね(^^♪

〇皆の授業に対しての振り返りを読むとワクワクしました。皆の振り返りを全体で共有すれば一人ひとりの学びになると思います。そのため、皆のコメントを紹介させてください。

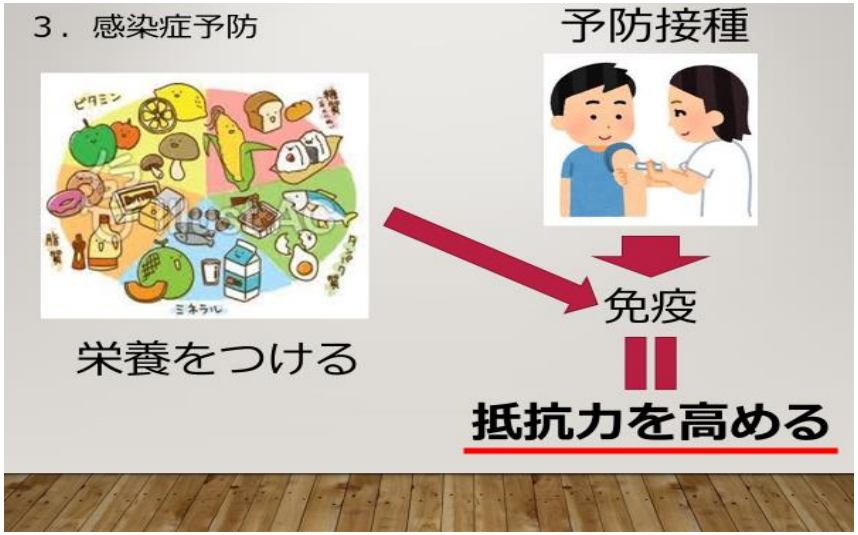
- ウイルスの対策、マスク以外に何があるのだろうと思いました。
- それぞれマスクの種類によって、効果が変わることに驚きました。
- 他のマスクについても調べてみたいと思いました。
- ウイルスに感染をしないようにマスクなどを使用して感染予防を頑張りたいと思いました。
- ネックゲイターというものを初めて知ったので、それについてもっと知りたいと思いました。
- どのマスクが一番良いのか調べたくなった。
- フェイスシールドとN95マスク、どちらの方が有効性高いのか気になりました。
- これからもマスクを着ける機会は多いと思うので、どの様なマスク、又はその着け方が効果あるのか等について知りたいと思った。
- N95マスクなど、マスクにも色々な種類があって、そのマスクのせいのうなどをもっとしっかり理解したいと思いました。

あらためて、皆がもっと、「知りたい」「調べたい」と思える授業を作りたいと思いました。皆さん、ありがとう。

では、次回に向けて動画を作成して、classroomにアップしたいと思います。ぜひ、ごらんください。


3．感染症予防
ILLUST BOX
アルコール
消毒液
消毒
殺菌
感染源をなくす

3．感染症予防
換気
衛生的
感染経路を遮断する


3．感染症予防
予防接種
ビタミン
ミネラル
栄養をつける
免疫
抵抗力を高める

授業通信　保健

相模向陽館高等学校午前部１年１組　第４号

# 『ひまわり』

## 全グループが課題を達成しました😊

こんにちは。「感染症とその予防」の２回目の授業が終わりました。今回も、皆さんの素晴らしい取組にとても嬉しくなりました。

前回よりも難しい課題に対して、グループで協力して知恵を出し合いながら取り組めれば、課題を達成できると思いました。

しかし、時間も短いため、全グループが課題を達成することは難しいと思っていました。

ところが、私の不安は皆の取組んでいる姿を見て無くなりました。一人ひとりが意見を出し合いながら話し合っている姿や、皆の意見を同じようなグループにわけている姿が素晴らしかったです。

そして、全グループが全体へ向けて発表している姿も輝いて見えました。一人ひとりが「主人公」となる授業でした。

私も授業が本当に楽しくて仕方ないです(^^♪

〇皆の授業に対しての振り返りを読むとワクワクしました。皆の振り返りを全体で共有すれば一人ひとりの学びになると思います。そのため、皆のコメントを紹介させてください。

- 改めて、マスク着用は大切だなと思いました。学校の先生、飲食店の人達は大変だなと思いました。少しでも感染が早く減ることを願います。
- みんなの意見を聞いて、納得することばかりでした。それをいかせるようにしたいと思いました。楽しかったです。
- マスクをつけるのを忘れてしまうことがあるので、これからは意識していこうと思います、
- 色々な感染予防があり、グループで話し合って決めて、それを皆に発表する。今日の授業はすごく楽しくて、最高でした。
- 分散登校、検温やマスク着用、今回みんなと話して出てきたものすべて、とても大事で自分の生活に当たり前のように取り入れていきたいと思いました。
- 今いろいろなお店がいろいろな対策をしているから、お店だけでなく個人が今よりもっと対策していければ、もっと感染を予防できるのかなと思いました。
- 今日の授業では、グループの意見などを聞いて、そういう考えがあるのかなどを知ることができました。そして立場を変えて、またいろんなことを知れるということを学びました。

- いろんな点から対策を考えることによって、様々な意見が出て良い勉強になった。
- 対策は大切。
- 今は当たり前みたいになっているけど、こういう対策をしなくても生活できるようにしたいと強く感じた。
- 自分だけではなく、周りの取組のことをみんなで考えたりして、今後に役立っていければと思いました。
- 今すでに行われていることもあったけれど、新しい意見もあったので、まだできることがあるのだなと思いました。
- 個人や社会的対策はどちらもマスクや消毒を重要視していることがわかった。あるお店では新しいマスク、しゃべれる君を作ったりして対策していることがわかった。
- カラオケにあまり行かないから、マイクにカバーを付けるということを知った。もし、将来、それ関係の仕事をすることがあったら、そこに視察しにいきたいと思います。
- みんなの意見を聞くと、クラスターや自分一人ひとりが感染しないために工夫して、どう行動するかを一つ一つ学んで意見を発言していた所が良かったから、学ぶことができた。
- 自分たちで校長先生になったつもりで考えた時間はすごく難しかったです。生徒として、しっかりマスク着用をし、密をさけながら生活しなくてはと思いました。

- お店をやっている側も色々考えていたり、それなりに苦労していたりするんだなぁと思った。店側と客側も協力していけば、これから感染も少なくなるのかなと思った。
- サイゼリヤのマスクの工夫がすごいと思いました。私も最近カラオケに行った時、カバーがマイクについて考えられているなと思いました。
- 自分の班の意見を聞いて、どこかに出かけたときに、どういった対策を行っているかを気にして見てみようと思いました。
- 個人的対策と社会的対策があることで感染をふせぐことができていることを知りました。
- 感染された場合の動き方を改めて知れたり、そのことについて詳しいことが分かることもできてよかった。

〇振り返りもよく書けていましたね。今まで持っていた知識と授業で学んだ知識を合わせて、今後の生活に役立てるといいですよね。

ぜひ、生活に役立つ授業にしましょう！

次回の授業も楽しみにしています(^^♪

授業通信　保健

相模向陽館高等学校午前部１年１組　第５号

# 『ひまわり』

## 素晴らしい取り組みでした😊

＜振り返り①＞感染症は時代や地域によって、違いがあることについて「わかったこと」「理解したこと」を書いてください。

- 人口や面積が関係があることを改めて気づきました。岩手県は26名ですごいなと思いました。
- 他の班では、増えてへってを繰り返していたけど、ワクチンを開発しても増えていく可能性があると思いました。
- 東京都と岩手でこんなにも違いがあるのかと、とてもおどろきました。
- これからコロナウイルスがおさまるか分からないけど、一人一人が意識して生きていけばいずれなくなると思います。
- 今日の授業で、ワクチンは開発されても、その先オリンピックがあり、ワクチンができたことにより油断がでてきていっこうに減らないのではないかと分かりました。
- 他の班でオリンピックや大阪万博で死亡者数グラフが変化しているのを見て、しっかり考えられているなと感心しました。
- 今はとても流行しているけど、ワクチンなどができれば、これから少なくなっていくと思う。
- やはり、東京では人が集まりやすくなってしまう。なぜかというと、店などが多くあってそういうところで集まってしまっている。
- 移動機関が発達している現在では、ウイルスが広まりやすいことに気づいた。
- 違いがあると分かった。
- やっぱり、人がいる所が感染しやすいんだと思った。予測グラフを書くのが難しかった。
- 交通機関の影響なのが、ここまでの差があるのかとおどろきました。
- 結核死亡率のグラフを見て、色々な対策の結果や、効果があったものなど面白かったです。
- 感染症は時代によって人数やワクチンなど、期によって変わる、いつでも発生することがある。
- オリンピックなど、大きな行事ごとになると、どんどん感染者が出るということが同じことを思っていた。
- 人口密度によっても、かなり変わるかなと思いました。
- その地域の感染症に対しての違いで、大きく人数が変わるなど、また、交通機関が多くある場所で大流行することも改めて分かりました。

・電車より車を使う岩手県民は２ケタで、電車をほぼ日常的に使う東京都民は万をこえている。電車は人が多いため、危険。
・地球温暖化による感染症、話を聞いていて、他人事じゃないなと思いました。これから、そうなる可能性は十分あると思います。
・地域によって感染している人数が全然違うことが分かった。交通機関に感染する人がたくさんいることが分かった。
・感染は地域によって違う人が多く出入りする所が増えている。

＜振り返り②＞これまでの感染症とその予防の授業で、「学んだこと」を書いてください。

・改めて感染症の怖さを知ることが出来ましたし、これからオリンピック・大阪万博などの世界を通して色々なイベントがあるけど、ワクチンなど開発されて、感染症が減って当たり前の日常が早く戻ってほしいです。

・免疫やこうたいを作ることだけでなく、ワクチンの開発や人それぞれの感染症の見方を考えていけたなら、もう少し変わっていくのではないかと思いました。感染症は怖いものだけれど、対策を考えていくことで共存していくことができるのではないかと思いました。今回は、とても興味深かったです。

・グループ以外の意見を聞いて、思いつかなかったことがたくさんできて、そんなこともあったなと、びっくりしました。今後、コロナがなくなっていくために、SNS で正しい意見を広げたり、少しでもみんなが気を使うことで、なくなっていけばと思いました。

・この授業で学んだことは、ウイルスや感染症は怖いとあらためて知れた。自分でも意識をしながら生きて行こうと思った。

・まず、感染症が僕も知らないものまであり、びっくりしました。後は、感染症の予防について色々な予防があって、すごくためになる授業で受けて良かったと思いました。こういう授業は楽しくてわかりやすくて最高です。また、授業が受けれたらお願いします！３時間の授業ありがとうございました。

・消毒やマスク、ワクチン接種、免疫力増加などの一番知りたかった新型コロナウイルス対策について、たくさんのことを学べました。

・これまでやってきて、一番大事なのは個人の対策も大切ということがわかった。

・コロナウイルスとは、危険だということをよく学べたのではないかと思います。いままでコロナウイルスをあまくみすぎていたので、そういうところでも学んで変わったなと思いました。

・今までの授業で、コロナの予防対策だったり、その他のウイルスについても知ることができた。

・予防の仕方を学んだ。

- 新しいウイルスのなおす方法はとても時間がかかると思った。予防はとても大切なことだと思った。
- 早くワクチンができればいい。
- コロナウイルスを中心にいろいろな感染症のことをくわしく知ることができました。今後に役立てていきたいです。
- 今、流行しているコロナウイルス以外にも、様々な感染症について、とても詳しくなれました。生活に活かしていければと思います。
- コロナなどをインフルエンザのようになるまえにワクチン予防できる物を作ること。
- 薬が出ないとコロナは終わらないことを感じた。薬にたよるんじゃなく、自分でも感染しないように心がけが大切だと思った。
- 改めてしっかり予防しようと思いました。コロナウイルスのワクチンや特効薬がはやくできると良いなと思いました。
- 班の人たちの意見と違う思いの時もありましたが、新しく分かったことも多かったので、これからの生活に生かしていきたいです。

- 今後のイベントで感染するリスクが高まる可能性があるけど、その高まった分だけ人々が危険を感じてきて…無限ループな気がします。
- 今は、新型コロナで大変なことになっているけど、これから他の感染症がでてくるかもしれない。普段から、気を付けていこうと思いました。
- マスクにも種類があったり、感染しないための学校やお店の人の工夫が役に立っていることが分かった。
- どんな小さい取り組みにも、ゆだんすることなくよぼうすることが大事と言うことを知った。

☆素晴らしい取り組み＆振り返りでした。学習したことを書きだすことで、知識が身についている人もいると思います。
ぜひ、次は実生活の場面でいかしましょう。
皆が、これからも授業を通して自信を身につけ、成長していく姿を楽しみにしています。
私も、「授業は、本当に楽しい！」と心から思えました。
皆と出会えたおかげです。
短い時間でしたが、最高に楽しい時間を共有させてもらえたことを幸せに感じています。これからも応援しています！

ありがとう(^^)/

研究通信1号

# SLR

－よい授業を求めて－

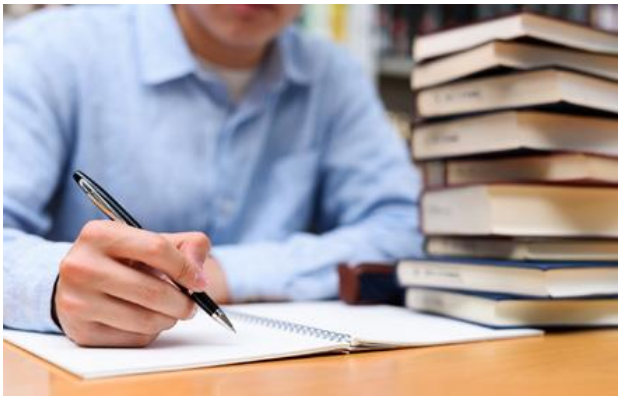
長期研究員　高橋　直人

## 研究通信の発行にあたり・・・

皆さん、こんにちは。昨年度まで向陽館で４年間勤務していました。体育科の髙橋　直人です。９期生午後部の年次リーダーをしていましたが、今年度より長期研究員としてスポーツセンター内、総合教育センター体育指導センター指導研究課授業研究班の一員として勤務しています。初めての電車通勤やスーツを着用することも慣れてきました。私はスポーツセンターアリーナ２の執務室におります。総合教育センターに来るさいはぜひ、お寄りください。今回、長期研究員として勤務しているなか、「有意義な時間を過ごしている」、「日々、発見や学びが多い」と感じています。その、学びを共有できたらいいなと思いました。そのため、研究通信を発行したいと思います。お時間あるときに目を通してもらえたら嬉しいです。研究通信のネーミングはスポーツ（ｓｐｏｒｔｓ）長期研究（Long-term researcher）研究通信（Research communication）の頭文字をとりました。
宇野先生に指摘されたら変更します…

## 研究とは・・・

「よく調べ考えて真理をきわめること。」と広辞苑で示されています。そのため、私は学校の問題や課題を明らかにして、課題解決をするための手立てを考え、仮説を立て、授業で検証します。そして、授業中の発話を文字に起こす。ＶＴＲから検証、事前・事後のアンケートを実施して比較したいと考えています。また、授業の振り返りにおいて、自由記述でテキストマイニングを用いて検証したいと考えています。ぜひ、先生方に協力いただきながら研修を進めていきます。



よい授業とは・・・

皆さんが考える「よい授業」とは、どんな授業ですか？私は、【授業中に生徒が興味を掻き立てられる課題に対して、他者と協働しながら課題解決を行い、授業後に「また、学びたい」と思える授業】だと考えています。（現時点では・・）
まだ、１ヵ月足らずですが。中教審答申、学習指導要領、学習指導要領解説を何十回も読み込むと新しい発見もありました。現場にいると、たまーに答申などをチェックするぐらいでした。
今、一番意識しているのは、「ｓｏｃｉｅｔｙ5.0」の取組についてです。
これからの社会に求められることが記載されています。

発表しました・・・

５月 13 日（水）に所内検討会がありました。総合教育センターの中講堂で自らの研究主題、研究の目的・仮説、研究の検証について。14 分間で発表をしました。（PowerPoint のスライドは 43 枚）その後、質疑応答は約 20 分でした。様々な視点で、「本当にこの研究は定時制の学校でできるのですか？」などの質問に対して答えました。批判的検討を行うことで、理論の構築が必要であったり、課題がみえてきました。中講堂で発表するのは気持ちよかったです。大講堂はもっと気持ちよいですけど。

今後へ向けて・・・

２年前の川端さん（本校の元体育科）が長期研究員として検証授業を本校で実施していました。私は参観していました。身近な存在として、研究のアドバイスや協力をしていましたが、検証授業は思うようにいかない部分も多かったです。
なぜか？
生徒が適応するのに時間がかかりました。
方法が目的に変わってしまった。という、一面もありました。
だからこそ、２年前の課題を踏まえて、
向陽館の先生方に協力していただくことで研究の成果が上がると思います。
そのため、研究について発信していきます。
ぜひ、先生方もご意見ください。

研究通信　2号

# SLR

－よい授業を求めて－

長期研究員　高橋　直人

## 現状について・・・

緊急事態宣言も解除となり、学校もいよいよ再開しましたね。今までに経験のないことをどのように乗り越えていくのか、チーム力が問われるところだと思います。

向陽館の先生方はチーム力が高いので、この難局も知恵を出し合い、乗り越えることだと思います。陰ながら、見守っています。

私は、６月から通常勤務となりました。電車通勤のため、感染対策を徹底して勤務に臨みたいと思っています。

## 日々の学び①・・・

研究員としての勤務で以前よりも視野が広くなったと感じています。なぜか？

様々な校種（小学校・中学校・特別支援）の方と共有しているからです。各校種の実態や取組を聞くことで、高等学校の位置づけを改めて考えさせられます。高等学校の目標として「自立」がテーマとして掲げられている学校も多いと思います。

私は「自立」していく階段を作っていたか？はたして、その階段は適切だったのか？

## 日々の学び②・・・

では、具体的に考えます。

教師は生徒より多くのことを経験しています。こうしたら成功する。失敗する。というのが事前にわかると思います。

私は今まで生徒が失敗しないように準備をして、様々なことに取り組み、準備をしていました。当然、生徒は成功すると自信がつき、自己肯定感が高まります。

しかし、弊害がありました。チャレンジ精神が損なわれました。人の顔色をうかがい、自分の「本心」でないこと。ようは、「相手が求めている答え」を言うようになりました。

ある時から、生徒にもっと任せようと思いました。ある時とは、自分の子どもが生まれてからです。育児（育児について語ったら妻に叱られると思いますが…）って、我慢が大事だと思いました。赤ん坊は親が「～してくれるんだ！」と思うと、自分ではしません。甘えます。依存します。そのことを、数年前に感じました。

１番、必要なことは「愛情」を持って接することだと思います。しかし、依存させることではありません。

優しさのなかに厳しさがあると思っています。優しさを勘違いすると、生徒は自立しません。教師に甘えます。厳しさだけでも自立はしないと思います。人を信頼しません。人に助けを求められません。

厳しさと優しさのバランスなのでしょう。皆さんはどのように考えますか？

「自立」について。

ぜひ、皆さんの意見も伺ってみたいです。

『学び合い』・・・

皆さん、『学び合い』という言葉は聞いたことがあると思いますが、具体的にどういうことなのだろう？協働的な学習なのか？グループ学習なのか？と、考えるかと思います。

色々な学び合いがあるなか、私が昨年より興味を持っていたのが、上越教育大学の西川純教授が提唱する『学び合い』です。

西川先生が提唱する『学び合い』に最も重要なものは、生徒を信じる教師の気持ちです。そして、『学び合い』は「大多数の生徒が出来るようになること」ではなく、「全ての生徒が出来るようになること」を目指し、実現には、我慢や根気が必要でしょう。と伝えています。しかし、諦めずに、その目標がいかに尊いかを生徒に語り続けなければならない、教師は、生徒の将来を預かっているのです。と言っている。「目の前の生徒たちを一人も見捨てず、全員を幸福にする」。そうした信念を持って指導に当たることが大切だと思います。と伝えています。

この考え方に共感を持ち、この先生のことをもっと知りたいと思い、西川先生の出版している本を５冊読みました。あっという間に西川ワールドに入っていきました。

また、考え方が授業も部活と一緒だよ。という言葉が自分のなかで「なるほど！」と、すっと落とし込まれました。

オススメ

NEW グリーンハウスです！

研究通信　3号

# SLR

－よい授業を求めて－

長期研究員　高橋　直人

## ジューンブライド・・・

湿度が高い日々が続いていますが、体調は大丈夫ですか？マスクを着けていると苦しいですが、感染症拡大防止対策と熱中症対策を並行して行うことが必要だと感じています。

さて、「ジューンブライド」ですが、６月の雨が多くジメジメした薄暗い雰囲気で結婚する人が少ない事に困ったブライダル業界が1970 年代ごろから始めた物であり、それまでは知られていなかった。と言われています。

こんな時期こそ、幸せなことを共有したいですね。

## 「個別最適化」①・・・

前回の通信で『学び合い』について説明しました。今回は、これからの教育に求められる「個別最適化」の教育について。

昨年、萩生田光一文部科学大臣のメッセージで「子どもたち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育 ICT 環境の実現に向けて」をはじめ、文部科学省の教育施策において、「個別最適化」というキーワードがたびたび登場するようになりました。

では、具体的に「個別最適化」は何を指しているのか。

生徒一人一人の能力や適性に応じて個別最適化された学びの実現に向けて、スタディ・ログ等を蓄積した学びのポートフォリオ（後述）を活用（Society5.0 に向けた人材育成について － 文部科学省）

また、今後の教育について「最新技術を活用した教育の推進」内閣府規制改革推進室（平成３１年３月１１日）、

①個々の学習状況や能力・適性に応じた授業を行うため→スタディ・ログ（学習履歴）を活用する。

②学校・家庭・塾・予備校などが共有、連携する。

③スタディ・ログ（学習履歴）の活用により→個人の理解状況や能力・適性に応じた個別最適化された学びが可能。

④スタディ・ログを活用した学習では、デジタル採点 →結果を蓄積→結果を分析（ＡＩ）→個に応じた教材を提供する。

⑤実現できることは

〇一斉一律型の授業と個別最適化された授業（習熟度などに応じて柔軟に学習を進められる 授業）を組み合わせることで、すべての子どもたちにとって学習しやすい環境の整った学校が実現できる。

〇場所や時間に制約されず、→「だれでも」「いつでも」 「どこでも」 主体的に学べる環境ができる。と示されています。

人間と AI が融合する時代がやってきましたね。

すでに、田中智史先生は生まれた時から AI と融合しているかと思いますが…

「個別最適化」②・・・

「個別最適化」①で記載したことが、すぐに実現できるとは思いません。環境整備に向けて、数年はかかると思います。

そこで、『学び合い』を提唱している西川先生は、公立学校でも可能な個別最適化の教育とは、教師が一方的に教える授業とは違い、子どもたちが主体的に学び合い、**学び方を子どもが選択する**。つまり、『学び合い』の授業だと伝えています。

具体的に、教師は学んで欲しいことはなにか、はっきりと子どもに示す。子ども全員が自分の学びを達成できるよう助け合うことを求め、学べる環境を整えます。子どもたちは、自分や互いの学びの達成のために教室を自由に動き、語り合い、調べあい、教え合う。と示しています。

そして、昨年度、試行的に『学び合い』を行った際、生徒の振り返りの記述で「今までよりも楽しく、皆と協力して授業に参加できた。」「友達に教えるって、難しいけど、わかってもらえたら嬉しい。」から、手ごたえを感じたこともあり、学び方を選択できる『学び合い』の授業は、向陽館の生徒にも有効であると考え、本研究において活用することとしました。

「発問」する技術　著者　栗田　正行

**「教師は五者であれ」**

学者：自分の専門分野に通じた「学者」であれ

医者：子供の心や身体をケアできる「医者」であれ

役者：子どもたちの心をひきつけ、魅力的な授業ができる「役者」であれ

易者：子どもたちの個性をつかみ、将来の適性を見抜き、進路指導に活かせる「易者」であれ（易者とは、占い師のこと）

芸者：一芸は百芸に通じると言われるように、教師自身が一芸に秀でた「芸者」であれ

**「1 人の世界に籠もる子どもへのオススメ発問」**

「今、夢中になっていることってなにかな？」

「君がそうやっている理由を教えてくれる？」

「その宿題（課題）をやるといい理由を考えてみようか」

**「立場を変えてみる発問」**

「君が先生だったら、自分自身になんて言うかな？」

「もし、自分が親だったら、自分自身になんて言うかな？」

「もし、自分が校長先生だったら、どんなことを伝えたいかな？」

「あなたのことが好きな人は、あなたのどんなところが好きなのかな？」

研究通信　4号

# SLR

－よい授業を求めて－

長期研究員　高橋　直人

## 「授業見学」①・・・

先日、学校訪問の際に授業見学をさせていただき、ありがとうございました。校長先生も一緒に校内を回っていたので、「何事？」と思った先生もいたかと思います。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、授業を運営していく難しさをつくづく感じました。特に、体育は体育館や校庭という広い場所で行うため、「集合」する場面も多くあります。今後も様々な創意工夫を重ねながら授業を運営していくことだと思います。

私も学校現場に戻ったことをイメージしながら考えたいと思います。アドバイスをいただければ幸いです。

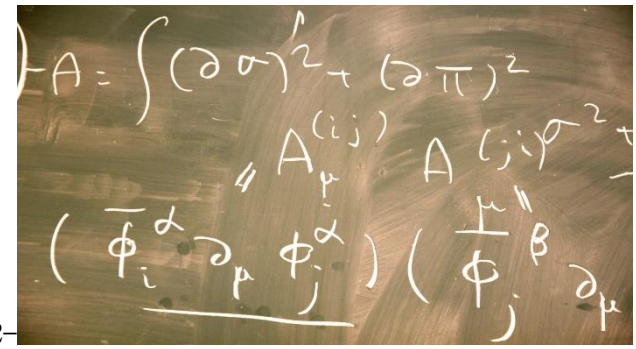
## 「授業見学」②・・・

先日、校内巡回をしていると、４階の教室で足が止まりました。「ラーニングピラミッドの表がスクリーンに映し出されている••。」ラーニングピラミッドとは、講義よりも教えること、説明することのほうが記憶に残ることを示したものです。私の研究でもこの理論を活用する予定です。

その授業は数学科の吉井先生でした。彼は、私が言うまでもなく、勉強熱心で様々なことに対してチャレンジ精神があり、前向きに物事へ取り組んでいると思います。

そんな吉井先生は私の研究に興味関心をもってくれて、気になることを質問してくれていました。そのなかで、ラーニングピラミッドについても話していましたが、すでに活用していることに驚きました。こういった仲間がいてくれることが、研究のモチベーションを高めてくれます。

研究を進めていく際、机上の空論にならないように注意していますが、独りよがりになっているときもあります。そのため、実践してくれる先生がいるのはとても心強いです。今後の吉井先生の授業実践報告を楽しみにしています。



## 体育指導センター内検討会・・・

７月９日（木）に体育指導センター内検討会を中講堂で行いました。中講堂で発表するのも３回目となりました。発表席からの光景も見慣れた感じとなり、自分の発表をどのような表情で皆さんは聞いているのかを意識しながら発表しました。

発表時間は 25 分間でしたが、少しオーバーしてしまいました。途中で熱が入りすぎ、予定よりもオーバーしたと分析しています。（笑）

私は発表よりも、発表後の質疑応答を楽しみにしていました。なぜなら、質疑に対しての答えを考えて臨んでいますが、なかには想定外の質疑がくるときもあります。想定外の質疑を受けたとき、自分の脳が最も活発に働いていると感じます。そして、質問に対して根拠を示しながら、自らの考えを論じていけたときは快感ですね。

今回も指導主事の皆さんに鋭い質問を投げかけていただき、自分の考えをさらに深めることができました。達成感を得た一日でした。

## 所内検討会・・・

７月 15 日（水）に所内検討会を会議室で行いました。スタートは大講堂で所長の講話でした。所長から「発表をするときに原稿を読まないように・・。」という言葉に会場は「おぉ・・。」という何とも言えない言葉に包まれました。皆、本番の当日に言われても難しいというのが本音でしたね。

しかし、次の日に所長と面談したさいに、「授業で原稿を読んだりしないでしょ？原稿を読もうと思っていたら生徒の心に伝わらないよね。」という言葉をもらいました。PowerPointのスライドを説明することが目的ではないということですね。

さて、当日は自分の発表が近づいてくるとワクワクしてきました。保健体育科の所員の方以外に発表をするのは始めてでした。体育指導センター内検討会のように一人ひとりの表情を見ながら余裕をもって発表ができました。スライドは 67 枚で発表時間が 25 分だったので、情報量が多すぎたことが課題として残りました。これまでの研究をまとめるとそこそこの量になりますが、結局はシンプルにしないと伝わらないと感じました。これは、授業でも言えると思います。情報量を整理することが授業や発表でも重要だと改めて感じました。

今後はもっと、聞いてくれる方を意識したプレゼンテーションを心がけたいと思います。次回は 12 月になります。相手の心に残るプレゼンテーションを行おうと思います。

総合教育センターにリス(°д°)！

研究通信　5号

# SLR

－よい授業を求めて－

長期研究員　高橋　直人

## 駆け抜ける夏・・・

一体、いつになったら涼しくなるのでしょうか。皆さんも寝苦しい日々が続いていることだと思いますが、お身体にご自愛ください。

私は、コロナ禍の影響もありますが、こんなにも運動をしない、日焼けをしていない年は記憶がありません。そのため、善行駅からスポーツセンターまで歩くだけで少し疲れます。体力が衰えていますね。涼しくなったら、近くに住んでいる角田先生を無理やり誘って夜ランをしたいと思います。

## 寂しい夏だったが・・・

コロナ禍の影響で様々な行事が相次いで中止になっています。私の子供たちも、「お祭りが中止になったから寂しい。」と嘆いていました。

しかし、様々なことが中止になる中、神奈川県の高校野球は代替大会を開催しました。

きっと、向陽館の３年生達は最後の舞台でベストパフォーマンスを出せたのかと思います。「ここまで、よく続けてきたな。」と伝えたいと思います。

## 「教えやすさ」と「学びやすさ」・・・

最近、よく考えていることについて。授業の「教えやすさ」と「学びやすさ」についてです。皆さんは、どちらを重視して授業を行っていますか？

「教えやすさ」の授業の典型は「説明中心の授業」だと思います。「学びやすさ」の授業の典型は「ワークショップ型授業」、「問題解決学習」などが、それに当たると言われています。

上條（東北福祉大学教育学部教授）は「教えやすさ」と「学びやすさ」の存在を俯瞰的に自覚することが大切です。その上で、いわば「教えやすさ」と「学びやすさ」を「ハイブリッド」するということが重要なのです。と述べています。

私は、上條氏が述べている「教えやすさ」と「学びやすさ」を「ハイブリッド」することが重要だということが今後の教育でポイントになると感じています。

なぜなら、知識注入の教えるだけでは、生徒の記憶に残らない。（前号の研究通信でラーニングピラミッドについて示しています。）反対に、学びやすさばかりを重視すると、知識を蓄えることができない。よく聞く言葉ですが、「活動あって、学びなし」となっては意味がありません。

そのため、「ハイブリッド」することが重要になるのではないかと思っています。

先日、長期研究員の研修で企画・運営をしました。テーマは「これからの教育について」です。その中で、講義と演習を半分ずつにしました。受講者からは、「とてもバランスがよかった。」と感想をもらいました。

## 学習スタイル・・・

向陽館の生徒はどのような学習スタイルを行えば、主体的に授業に参加すると思いますか？

私は赴任した５年前に保健の授業を担当した午後部 7 期生はグループ学習を 1 年間ずっと行いましたが、難しいことはなかったです。しかし、午後部８期生はグループ学習で行うことの目的意識を果たすには難しい時がありました。その時は、視聴覚教材を用いたり、PowerPoint で授業をしました。

冒頭の部分に戻りますが、向陽館の生徒はどのよう学習スタイルがマッチするかを現場にいるときは日々考えていました。ある時、「これだけ、多様性がある生徒を対象に授業を行うのであれば、多様な学習スタイルを用いれば生徒にフィットするのではないか。」と考えました。

また、先月末に検証授業を実施する午前部１年１組でアンケート調査を行いました。質問で、講義型（主に先生が話す）の学習は好きですか。グループ学習は好きですか。については、好意的に思っている人は 56%でした。次に、ペア活動は好きですか。調べ学習などの１人で行う学習は好きですか。については、好意的に思っている人は 60%でした。

アンケート調査の結果が偏らないということは、多様な学習スタイルから自分に合う学習スタイルを選べれば主体的に授業に参加するのではないか。とデータから読み取れると思いました。

アンケート調査に協力してくれた午前部 1 年 1 組の皆さん、担任の土田先生、荒川先生。どうもありがとうございました。

## 研究の限界・・・

先ほど、述べた課題を解決するために『学び合い』（西川純教授が提唱する）の授業をメインに実践しようと考えていました。

しかし、３時間という検証授業の短さ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を取りながらの授業運営。と考えてみると、授業中に歩き回って、教えたり、教えてもらったりすることは難しいと判断しました。

また、教育委員会からの通知においても、授業における留意点で、「ペアやグループは固定して。」という記載があり、今回の研究では断念しました。

そのため、一から研究について考えました。生徒の問題はなにか？問題に対する手立ては？手立ての根拠は？また、実践可能なのか？などを一晩じっくり考えました。

そして、自分の理念である「1 人も見捨てず、自立した人間を育成する。」を軸にして考え、生徒が主体的に授業に参加するため、課題の設定を工夫し、協同的な学びを活用したいと考えました。協同的な学びに関しては、協同学習・佐藤学先生が提唱する「学びの共同体」・西川純先生が提唱する『学び合い』を向陽館の生徒の実態を踏まえて、活用していきたいと考えています。

研究授業でありがちな「詰め込みすぎ授業」にならないよう、最後はシンプルにして授業実践していきます。

検証授業まで、残り１か月弱となりました。今後も、ワクワクしながら研究を進めていきたいと思います。

今後も研究に関する協力について、よろしくお願いします。

研究通信　6号

# SLR

－よい授業を求めて－

長期研究員　高橋　直人

## 折り返し地点・・・

教育研究を進めて半年が経過しようとしています。様々なことがあったけれど、あっという間に感じます。そこで、半年を振り返ると同時に今後の研究について自問自答をしたいと感じました。

そのため、「山へ登ろう！」と思いつき、９月 22 日（火）に大山へ１人で向かいました。

途中で、４年前に８期生の先生方と大山を登ったことが頭に浮かびました。とても楽しい思い出でした。

今回は１人で登山をしたので、自分を見つめ直す良い機会でした。山を登りながら、途中で足が止まり、また進む。「自分の研究のようだ。」と思いました。

ふと周囲を見渡すと、人がいなくて不安になりました。学校で考えると、クラスに誰もいないと生徒は不安だろうと感じました。しかし、クラスメイトがいることで助けられることもあると感じました。

そこに、学校の意義があるのではないか。と感じながら登山を進めていきました。

今回の自問自答はとても有意義でした。結局、なんのために研究をしているのかを再確認することができました。原点回帰をして、これから前へ前へ進んでいきます。

## 他校種からの学び・・・

先日、中学校の検証授業に授業参観しました。中学生の授業を参観することは久しぶりでした。授業は、思春期真っ只中の中学２年生らしいリアクションで進んでいきました。

何よりも良かったことは皆で学び合っていることでした。「自分だけが理解すればいいのだ。」という雰囲気は無く、和やかな雰囲気がとても居心地よく感じました。

生徒がよく話すので、「対話」を中心とした授業がマッチしていました。

向陽館だったらどうか？授業参観をしながら考えていました。静かに座って聞いていればよいのか？そうではないと思います。「対話」は苦手な生徒が多いだろうが、だからこそ「対話」をしていくことに価値があると思います。

つまり、高校を卒業することが目的ではないと思います。その先を見据えることが大事だろうと思います。そのため、コミュニケーション能力を育むことを授業で行っていきたいです。

今回の授業参観を通して、関係性と雰囲気が重要なポイントだと改めて感じた。

午前部１－１の生徒と関係性を構築しながら、和やかな雰囲気で授業を生徒と創りあげていきたいと思います。

新型コロナウイルスとどう向き合うか・・・

毎日、ニュース等で「コロナウイルス」という言葉を聞かないことはないです。世間の関心も高いことに変わりはないものの、気持ちが緩んでいることも確かだと思います。いつ終息するのだろうか。いつワクチンができるか。そんな話を職場や家庭でもしていると思います。期待と不安が交差していると思いますが、過去の感染症を振り返ってみても、感染症を撲滅できたのは天然痘ぐらいではないでしょうか。それぐらい、見えない敵であるウイルスは怖い存在です。

今回、私が行う検証授業は感染症を中心に行います。生徒が今後、どのように感染症と向き合っていくか。自分を守っていくか。そのため、生きて働く知識を育ませていきたいと思います。

そして、見えない敵であるウイルスを見える化して分かりやすく伝えたいと思います。見えることで感じることも変わるだろうと思います。生徒の感染症に対する「見方・考え方」をどのように深めさせるか…。

今後、教材の工夫や発問、課題の設定をつめていきたいと思います。

検証授業について・・・

いよいよ研究の検証授業まで９日となりました。今後、授業の具体についてはつめていきます。今回はテーマや日程をお伝えします。

○ テーマ

生徒が興味を持ちながら生きて働く知識を身に付ける保健学習

－新型コロナウイルス感染症を中心とした見える化教材の活用とグルーピングを工夫した協同的な活動を通して－

○ 日程

10月　8日（木）２時間目

10月15日（木）２時間目

10月22日（木）２時間目

○ 教場

社会科教室

○ 検証授業へ向けて

先生方の協力のおかげで私のモチベーションは日々高まりました。特に教科担当の深谷先生、担任の土田先生、荒川先生、保健体育科の先生方。忙しい中、協力していただき、ありがとうございます。少しでも、授業を通して恩返しができればと考えています。生徒たちには「向陽館にとって良い授業を皆で作ります。」と伝えています。先生方に参観していただき、意見をもらえると幸いです。

10月は学校へ出向く回数も増えます。

皆さんや生徒から刺激をもらい、自身を高めていきたいと思います。

よろしくお願いします。

研究通信　7号

# SLR

－よい授業を求めて－

長期研究員　高橋　直人

## 検証授業について・・・

　これまで多くの方々に協力していただき、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。先生方のお力添えがあったおかげで、よりよい授業が行えたと思います。

　さて、授業前のクラスイメージは、全体的にとても大人しいクラスだと感じていました。そのため、授業前の LHR でプレゼンをさせてもらいました。プレゼン後は生徒と視線も合うようになり、ほっとしました。そのような機会をいただき、担任の先生方に感謝です。

【毎時間の課題】

１時間目

「ウイルスなどの飛沫をブロックするための、マスクの有効性が高い順にランキングを作ろう！」

２時間目

「３つの事例から、１つ選び、それぞれの状況をふまえ、責任者の立場で、新型コロナウイルス感染症の予防対策を考え、提案しよう！」

３時間目「今後、日本の新型コロナウイルス感染症の死亡者数は、どの様に推移するか考えよう！」

## 実際の授業について・・・

《1 時間目の授業》

　生徒はいつもと違う環境のため緊張した面持ちでした。しかし、アイスブレイクから雰囲気が変わりました。生徒の表情も明るくなり、何より課題に対してグループ内で意見を伝え合ったりしている姿が印象的でした。その姿を見て、グループ内で助け合っていて素晴らしいと思いました。

《２時間目の授業》

　生徒は冒頭の「語り」で前時の取組を褒めると、表情が和やかになりました。私はその表情を見て「今回の授業は前時よりも不安が少なく授業に参加できる」と思いました。

　グループ内で、前時に欠席した生徒に対して教えている生徒も見られ、欠席した生徒も安心して授業に参加していました。

　課題に対しては、各グループでチームワークを発揮し、全グループが課題を達成したことで教室がさらに和やかな雰囲気になりました。

　また、振り返りの文字数が前時から倍になったことは驚きました。これは、「語り」で前時の取組を褒めたことが影響しているのか？前時の振り返りに私がコメントを記入しているのが影響しているのか？

　私は両者だと思っています。内発的動機づけを行うことで、生徒の心に火をつけ、生徒の振り返りにコメントを行うことは生徒の心に栄養をあたえることにつながったのではないかと思っています。

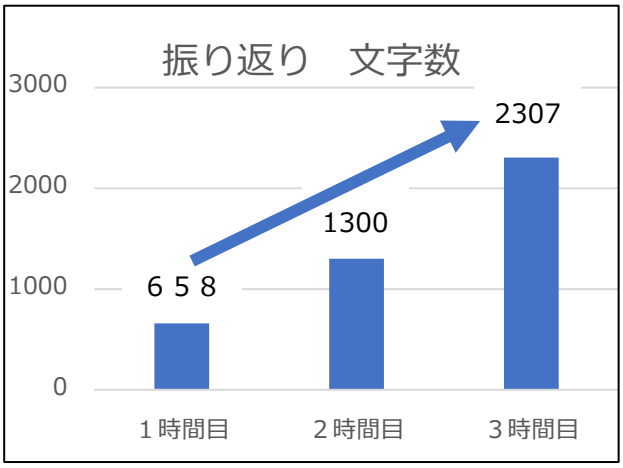
《3 時間目の授業》

生徒は最初から最後まで集中していました。学びに向かう姿勢が素晴らしいと思いました。特に、各グループで課題に取り組む姿勢が素晴らしかったです。また、発表する姿も堂々としており、立派でした。なかには、緘黙の生徒が発表している姿は、びっくりしたと同時に、感動を覚えました。

そして、授業の振り返りは 1 時間目の 3 倍になりました。改めて、「生徒はできる！」と思いました。

参観者からも感動の声を聞けて、私自身も嬉しくなりました。

【振り返り　文字数　推移】




【1 時間目　生徒の取組】

生徒の写真

【2 時間目　生徒の取組】

生徒の写真

【3時間目　生徒の取組】

生徒の写真

【教える場面】

教師の写真

**今後はデータをまとめて、**

**研究報告書を作成します。**

## ９　参考文献・資料

### （１）参考図書

「最新高等学校保健体育」大修館書店
「個別最適化の教育」西川純　学陽書房
「2030 年教師の仕事はこう変わる！」西川純　学陽書房
「高校教師のためのアクティブラーング」西川純　東洋館出版社
「『学び合い』を成功させる
「私は『学び合い』をこれで失敗し、これで乗り越えました。」西川純編著　東洋館出版社
「発問する技術」栗田正行　東洋館出版社
「授業づくりネットワーク」上條晴夫　学事出版

### （２）ウエブサイト

「mashup NY」
「厚生労働省」
「文部科学省」
「内閣府」

### （３）資料

結核死亡率のグラフ
創立 100 周年記念第 91 巻
「日本内科学会　2002」